

豊中市安心つながり宣言

新型コロナウイルスの感染拡大により、対面で話すこと、みんなで集まることなど、これまでの地域活動の当たり前が当たり前でなくなる事態になりました。同時に突然、社会的、経済的に困難な状況に直面するなど、様々な支援が必要な方は感染症発生前よりも増加しています。

人と人との距離を置き感染予防を行うソーシャルディスタンスは、「人との心のつながり」を遠ざけるものではありません。私たちは、どのような環境においても、社会的孤立をなくし、誰もが生きがいや役割を感じられる社会をつくること、子ども・障害者・高齢者・外国人など情報を得にくい人を取り残すことなく、新たなつながりをつくり、必要な人に必要な支援を届けることに一層力を注ぎ、地域包括ケアシステム・豊中モデルを推進してまいります。

そして、市民、事業者、行政が一体となって、地域で支えあい、課題を解決できる地域づくりを推進することで、SDGs（持続可能な開発目標）の理念である「誰一人取り残さない社会」の実現をめざすことを宣言します。

令和2年（2020年）8月
豊中市長 長内 繁樹

